

(様式1)

## 平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 113	提案機関名 酒匂川河口漁業対策協議会
<b>要望問題名</b> 砂泥の堆積がアワビ、サザエなどの磯根資源へ及ぼす影響の調査について	
<b>要望問題の内容</b> 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 平成22年9月の台風9号以来、雨量が増加する度に酒匂川から多量の泥が相模湾に流れ込み、広い範囲で海底や岩礁帯に堆積するようになっている。 特に岩礁帯に堆積した泥が水産有用種であるアワビとサザエ等の磯根資源の再生産に悪影響を及ぼすことが懸念されることから、漁業者から早急な対応が求められている。 そこで、酒匂川から流入した大量の泥や砂が磯根資源、特に水産有用種であるアワビとサザエの再生産に及ぼす影響について調査を要望する。	
<b>解決希望年限</b>	1年以内    2～3年以内    4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内
<b>対応を希望する研究機関名</b>	農業技術センター    畜産技術センター <input checked="" type="checkbox"/> 水産技術センター 自然環境保全センター
<b>備考</b>	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

<b>回答機関名</b>	水産技術センター	<b>担当部署</b>	栽培推進部・相模湾試験場
<b>対応区分</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 継続検討 <input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 調査指導対応 <input type="checkbox"/> 現地対応 <input type="checkbox"/> 実施不可		
<b>試験研究課題名</b>	( 、 、 の場合)重要水産資源回復推進事業(アワビ資源回復効果調査事業) 砂泥の堆積による磯根資源への影響調査		
<b>対応の内容等</b>	平成19年度より、アワビ資源の増大を図るため、県下4漁業協同組合においてアワビ資源回復計画を策定し、禁漁区の設定や種苗放流を実施して、再生産による資源回復を図るための調査研究を継続中です。平成23年度と平成24年度には、小田原地区にもサザエの種苗放流試験を実施しており、平成25年度についても、検討中です。 さらに、相模湾試験場では平成23年度から貴協議会からの委託により、磯根漁場の砂泥堆積状況と親貝成熟度や幼生出現状況調査を実施しているところです。 河川からの土砂流入が磯根資源に及ぼす影響については長期にわたり把握する必要があると考えており、今後も調査を継続してまいります。		
<b>解決予定年限</b>	1年以内    2～3年以内    4～5年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 5～10年以内		
<b>備考</b>			